

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 理事会 議事録（要旨）

- 1 日 時 令和元年6月6日（木）午前10時00分から午前11時25分
- 2 会 場 横浜市健康福祉総合センター8階 大会議室8AB
- 3 出 席 理事総数17名中15名出席
- 4 議 題
 - 第1号議案 会員の承認について
 - 第2号議案 任期満了に伴う監事候補者の選定について
 - 第3号議案 会計監査人の報酬について
 - 第4号議案 長期ビジョン2025中期計画（令和元～令和5年）（案）について
 - 第5号議案 横浜市社会福祉協議会 指定管理受託方針（案）について
 - 第6号議案 平成30年度事業報告（案）及び収入支出決算（案）について
 - 第7号議案 評議員会の招集について

報告事項

- 1 平成30年度監事監査報告について
- 2 平成30年度資産運用状況及び令和元年度資産運用方針について
- 3 障害者研修保養センター横浜あゆみ荘管理規則の一部改正について

5 議案の審議結果

第1号議案 会員の承認について

事務局より、構成会員4団体と行政会員1名、学識会員1名の新規入会の承認について議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

第2号議案 任期満了に伴う監事候補者の選定について

任期満了に伴う監事候補者の選定について、事務局より議案書に基づき説明。全員異議なく、以下の2名が推薦された。

1. 鈴木利雄 （公認会計士）
2. 露木光夫 （戸塚区民生委員児童委員協議会会長）

第3号議案 会計監査人の報酬について

会計監査人の報酬について、事務局より議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

報酬額 金 8,640,000 円 (税抜)

(1日あたり単価 90,000 円、工数 96 日)

第4号議案 長期ビジョン 2025 中期計画 (令和元～令和5年度) (案) について

事務局より、長期ビジョン 2025 中期計画 (令和元～令和5年度) (案) について、議案書に基づき説明。以下の意見があった。その後、全員異議なく原案のとおり承認された。

(理事) 中期計画については、我々も取り組んでいかなければならないものだと感じる。中でも、災害時の問題が課題である。横浜市が被災した場合、行政だけでは太刀打ちできないのではないかと。横浜市社協の強み、つながり、絆を生かし、行政や施設だけではなく、地域住民、ボランティア、NPO 法人などと協働し、様々な面から検討していかなければならないと思う。

高齢福祉部会では、災害に関する取り組みを進め、それぞれの施設と横浜市が、人員の不足の状況や被災状況を共有できるようになった。こういった仕組みを県にも波及しながら、何かあった際には、早急に対応でき、お互いに助け合える仕組みを作っていかなければと思う。地域でも、災害に対する対応を検討いただきたい。

第5号議案 横浜市社会福祉協議会 指定管理受託方針 (案) について

本会指定管理受託方針 (案) について、事務局より議案書に基づき説明。以下の意見があった。その後、全員異議なく原案のとおり承認された。

(会長) 1年間かけてケアプラザや老人福祉センターなどの運営施設を巡回した。今後本会が使命を果たすために、受託すべき施設について、慎重に検討していく必要があると感じた。

(理事) 本件については、基本的に賛成だが、地域ケアプラザ未受託の4区が気になり。高齢者・障害者の権利擁護については、地域包括支援センターが基盤になっており、地域ケアプラザは地域の権利擁護の拠点と考えている。成年後見制度の利用の促進に関する施策も始まる中、できるだけ積極的に受託するように動いてほしい。

第6号議案 平成30年度事業報告（案）及び収入支出決算（案）について 及び

報告事項1 平成30年度監事監査報告について

平成30年度事業報告（案）及び収入支出決算（案）について、事務局より資料に基づき説明。理事より以下の報告があった。その後、監事監査報告について、監事より監事監査報告に基づき報告があり、全員意義なく承認された。

（理事）よこはま保育フォーラム2018を、9月2日に開催し、約600人が参加した。保育の質の向上を目指した実践活動発表や、保育士養成校の学生等を対象とした施設紹介により、横浜における保育の仕事の魅力を伝えた。

本年は、9月1日に、パシフィコ横浜にて開催する。

（理事）第4期横浜市地域福祉保健計画については、2年という非常に長い期間をかけて策定してきた。地域福祉とは本来、つらいときは周りの人に助けてと言ひ、周りは気づいたら助けていくという助け合いが自然にできていくというものだと思うが、複雑な現代社会ではそういったことが難しく、きちんと計画を作り、支援組織を作っていかななくてはならず、大変なものだと実感した。

社会ではますます少子高齢化が進んでいる。高齢者になって初めてわかることが多くあるため、若い方々がこういった計画をするのは苦労があったと思う。また、2年という策定期間については、長いのではないか。現行の計画を進めながら、次期計画を策定する作業は、非常に負担が大きいと感じる。ぜひ策定期間を短くし、その分、地域福祉の実践に力を注いでほしい。

第7号議案 評議員会の招集について

事務局より、令和元年6月25日開催予定の評議員会の招集について、議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

報告事項2 平成30年度資産運用状況及び令和元年度資産運用方針について

平成30年度資産運用状況及び令和元年度資産運用方針について、事務局より議案書に基づき説明。

報告事項3 障害者研修保養センター横浜あゆみ荘管理規則の一部改正について

障害者研修保養センター横浜あゆみ荘管理規則の一部改正について、事務局より議案書に基づき説明。